

出典：裁判所ホームページ（<https://www.courts.go.jp>）の裁判例情報をもとに作成

事件番号	昭和 42(オ)281	原審裁判所名	大阪高等裁判所
事件名	損害賠償請求	原審事件番号	昭和 40(ネ)1712
裁判年月日	昭和 42 年 6 月 30 日	原審裁判年月日	昭和 41 年 11 月 28 日
法廷名	最高裁判所第二小法廷		
裁判種別	判決		
結果	棄却		
判例集等	民集 第 21 卷 6 号 1526 頁		

判示事項	「失火ノ責任ニ関スル法律」と民法第七一五条
裁判要旨	被用者が重大な過失によつて火を失したときは、使用者は、被用者の選任または監督について重大な過失がなくても、民法第七一五条第一項によつて賠償責任を負う。

全 文	
主 文	
本件上告を棄却する。 上告費用は上告人の負担とする。	
理 由	
上告代理人能勢喜八郎の上告理由について。 <u>「失火ノ責任ニ関スル法律」は、失火者その者の責任条件を規定したものであつて、失火者を使用していた使用者の帰責条件を規定したものではないから、失火者に重大な過失があり、これを使用する者に選任監督について不注意があれば、使用者は民法七一五条により賠償責任を負うものと解すべきであつて、所論のように、選任監督について重大な過失ある場合にのみ使用者は責任を負うものと解すべきではない（大正二年二月五日大審院判決・民録一九輯五七頁参照）。論旨は採用できない。</u> よつて、民訴法四〇一条、九五条、八九条に従い、裁判官全員の一致で、主文のとおり判決する。 （裁判長裁判官 奥野健一 裁判官 草鹿浅之介 裁判官 城戸芳彦 裁判官 石田和外 裁判官 色川幸太郎）	

※参考：判例タイムズ 209 号 144 頁、判例時報 488 号 61 頁